

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	約10年間（2015年2月17日～2025年2月7日）	
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	英国公社債マザーファンド
	英国公社債マザーファンド	英国債券建債券
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、英国債券建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②投資にあたっては、以下の方針を基本として運用を行ないます。</p> <p>イ. 投資対象は、国債等（国家機関、政府・地方政府、国際機関もしくはそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証する債券を含みます。）および社債とします。</p> <p>ロ. 投資する債券は、取得時においてBBB格相当以上（ムーディーズでBaa3以上、S&PでBBB-以上またはフィッチでBBB-以上）の格付けを有することを基本とします。</p> <p>ハ. ポートフォリオの修正デュレーションは、5（年）程度から10（年）程度の範囲を基本とします。</p> <p>ニ. 金利リスク調整のため、英国債券建ての国債先物取引等を利用することがあります。</p> <p>③外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

英国公社債ファンド（毎月分配型） （愛称：UKボンド）

運用報告書（全体版）

第6期	（決算日	2015年9月8日）
第7期	（決算日	2015年10月8日）
第8期	（決算日	2015年11月9日）
第9期	（決算日	2015年12月8日）
第10期	（決算日	2016年1月8日）
第11期	（決算日	2016年2月8日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「英国公社債ファンド（毎月分配型）（愛称：UKボンド）」は、このたび、第11期の決算を行ないました。

ここに、第6期～第11期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<3252>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額				シティ英国国債インデックス (円換算)		公社債 組比率	債 先 比	券 物 率	純 資 産 額	
	(分配落)	税 込 分	み 金 配	期 騰 落	中 率	(参考指数)					期 騰 落
1 期末 (2015年 4 月 8 日)	9,813	20	20	△	1.7	9,926	△	0.7	97.3	—	1,183
2 期末 (2015年 5 月 8 日)	9,889	20	20		1.0	9,992		0.7	96.6	—	1,183
3 期末 (2015年 6 月 8 日)	10,111	20	20		2.4	10,249		2.6	95.6	—	1,155
4 期末 (2015年 7 月 8 日)	10,047	20	20	△	0.4	10,313		0.6	97.9	—	1,048
5 期末 (2015年 8 月 10 日)	10,258	20	20		2.3	10,599		2.8	96.9	—	1,068
6 期末 (2015年 9 月 8 日)	9,663	20	20	△	5.6	10,133	△	4.4	94.2	—	1,050
7 期末 (2015年 10 月 8 日)	9,650	20	20		0.1	10,134		0.0	95.4	—	1,068
8 期末 (2015年 11 月 9 日)	9,646	20	20		0.2	10,068	△	0.7	95.4	—	1,065
9 期末 (2015年 12 月 8 日)	9,809	20	20		1.9	10,315		2.4	96.2	—	1,023
10 期末 (2016年 1 月 8 日)	9,068	20	20	△	7.4	9,559	△	7.3	96.1	—	894
11 期末 (2016年 2 月 8 日)	8,878	20	20	△	1.9	9,642		0.9	96.1	—	832

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注 2) シティ英国国債インデックス (円換算) は、シティ英国国債インデックス (英ポンドベース) のデータに基づき円換算し、当ファンド設定日を 10,000 として大和投資信託が計算したものです。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

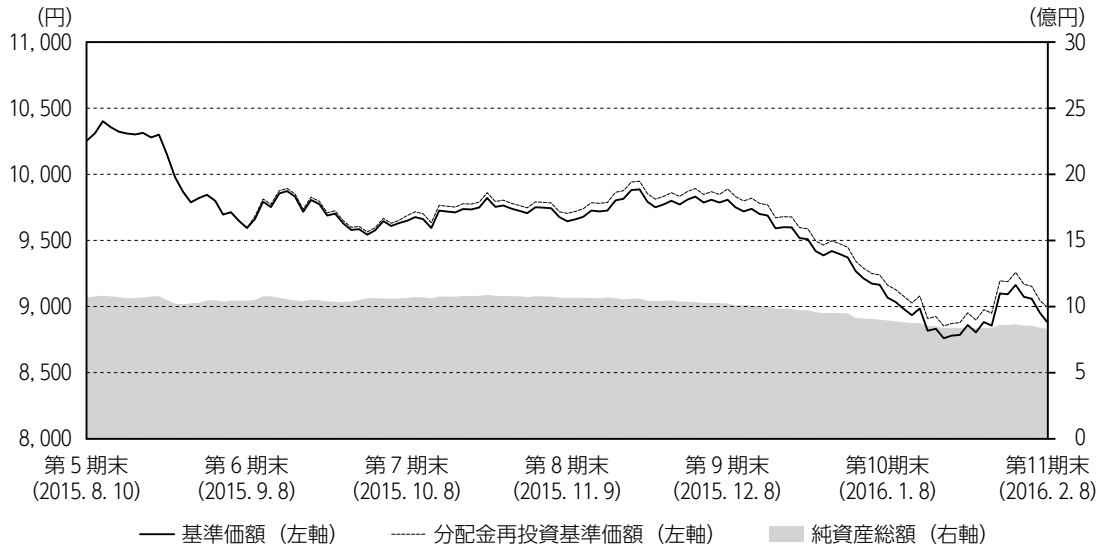
(注 4) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注 6) 債券先物比率は買建比率 - 売建比率です。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第6期首：10,258円

第11期末：8,878円（既払分配金120円）

騰落率：△12.3%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

英国国債市場の金利低下（債券価格の上昇）は基準価額の上昇要因となる一方で、英国ポンドの対円為替レートの下落や社債市場のスプレッド（国債に対する上乗せ金利）の拡大が基準価額の下落要因となり、これらの結果、基準価額は下落しました。

英国公社債ファンド（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		シティ英国国債インデックス (円換算)		公 社 組 比	債 入 率	債 先 比	券 物 率
		騰 落 率		(参 考 指 数)	騰 落 率				
第6期	(期首) 2015年8月10日	円	%		%		%		%
	8月末	10,258	—	10,599	—	96.9	—	—	
	(期末) 2015年9月8日	9,846	△ 4.0	10,238	△ 3.4	96.0	—	—	
第7期	(期首) 2015年9月8日	9,683	△ 5.6	10,133	△ 4.4	94.2	—	—	
	9月末	9,663	—	10,133	—	94.2	—	—	
	(期末) 2015年10月8日	9,587	△ 0.8	10,110	△ 0.2	93.4	—	—	
第8期	(期首) 2015年10月8日	9,670	0.1	10,134	0.0	95.4	—	—	
	10月末	9,650	—	10,134	—	95.4	—	—	
	(期末) 2015年11月9日	9,707	0.6	10,140	0.1	95.4	—	—	
第9期	(期首) 2015年11月9日	9,666	0.2	10,068	△ 0.7	95.4	—	—	
	11月末	9,646	—	10,068	—	95.4	—	—	
	(期末) 2015年12月8日	9,773	1.3	10,234	1.6	96.5	—	—	
第10期	(期首) 2015年12月8日	9,829	1.9	10,315	2.4	96.2	—	—	
	12月末	9,809	—	10,315	—	96.2	—	—	
	(期末) 2016年1月8日	9,372	△ 4.5	9,823	△ 4.8	93.4	—	—	
第11期	(期首) 2016年1月8日	9,088	△ 7.4	9,559	△ 7.3	96.1	—	—	
	1月末	9,068	—	9,559	—	96.1	—	—	
	(期末) 2016年2月8日	9,100	0.4	9,790	2.4	95.0	—	—	
		8,898	△ 1.9	9,642	0.9	96.1	—	—	

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について**○英国債券市況**

英国債券市況は、英国国債金利が低下（債券価格は上昇）する一方、社債市場ではスプレッドが拡大しました。市場では中国経済の先行き不透明感が漂う中、第6期首から2015年10月下旬にかけて英国国債金利は方向感なく推移しました。その後、米国では12月の利上げ開始観測が高まる一方、英国ではB O E（イングランド銀行）のカーニー総裁から市場の利上げ観測を後退させる発言が聞かれたほか、11月の四半期インフレ報告の中で物価見通しが下方修正され、利上げ開始時期の後ずれが意識されました。こうした環境下、金利は12月下旬にかけて上下に振れながらもボックス圏での推移が続きました。2016年1月以降、原油価格や中国株が下げ足を速めるなど市場のリスク回避姿勢が強まる中、金利は第11期末にかけて低下基調となりました。一方、社債市場については世界的なリスク選好度合いの低下がスプレッドの拡大要因となりました。

○為替相場

英国ポンドの対円為替レートは下落（円高）しました。第6期首から、中国株の急落をきっかけとした世界的な株安の流れを背景にポンド円は下落しました。その後は、英国において雇用関連をはじめとして堅調な経済統計が発表されたことや、E C B（欧州中央銀行）が追加金融緩和に前向きな姿勢を示し市場のリスク選好が強まったことなどから、2015年11月中旬にかけてポンド円はじりじりと上昇しました。12月以降、原油価格が下落する中で市場のリスク回避姿勢が強まり、2016年1月中旬にかけてポンド円は下落基調を強めました。1月末には日銀がマイナス金利導入を決定し金融緩和姿勢を強めたことから、ポンド円は急上昇する場面も見られましたが、2月以降は世界的に株安傾向が強まったこともあり、第11期末にかけてポンド円は日銀の追加緩和発表後の上昇をほぼ打ち消す形で下落に転じました。

前作成期間末における「今後の運用方針」**○当ファンド**

「英国公社債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れます。

○英国公社債マザーファンド

当ファンドは、B B B格相当以上（取得時）の英国ポンド建て債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。ポートフォリオの金利リスクを表す修正デュレーションは、5（年）程度～10（年）程度の範囲で、英国経済分析や金融政策見通しに基づいて変動

英国公社債ファンド（毎月分配型）

させます。債券種別では、国債と社債を中心として投資を行ないます。社債については、社債発行企業の信用リスク分析を行なった上で、クレジット市場全体の動向を加味して投資銘柄を選別します。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「英国公社債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れました。

○英国公社債マザーファンド

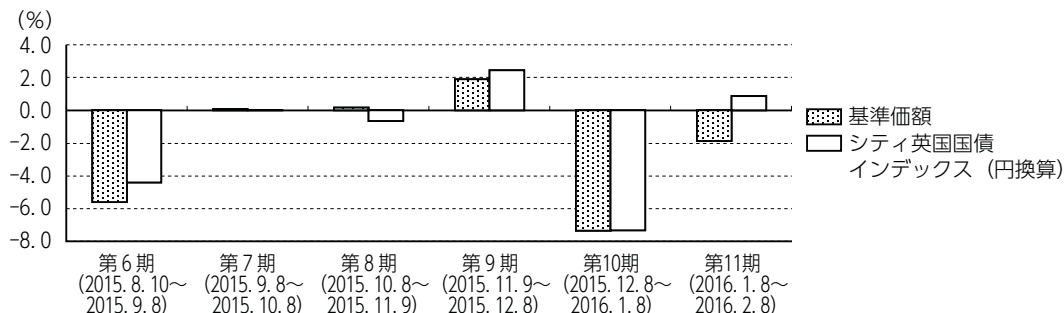
英国ポンド建て債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしました。

金利変動リスクを表す修正デュレーションについては、5（年）程度から10（年）程度の範囲内で運用しました。英国経済のファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）や金融政策の方向性、また世界的な金融環境などを勘案しつつ、修正デュレーションについては徐々に短期化を進めました。債券種別構成としては、国債と社債を中心にポートフォリオを構築しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

第6期から第11期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ20円といたしました。
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期
	2015年8月11日 ～2015年9月8日	2015年9月9日 ～2015年10月8日	2015年10月9日 ～2015年11月9日	2015年11月10日 ～2015年12月8日	2015年12月9日 ～2016年1月8日	2016年1月9日 ～2016年2月8日
当期分配金（税込み）（円）	20	20	20	20	20	20
対基準価額比率（％）	0.21	0.21	0.21	0.20	0.22	0.22
当期の収益（円）	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	353	360	368	382	390	396

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期
(a) 経費控除後の配当等収益	24.82円	25.10円	28.19円	34.07円	27.10円	26.44円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	71.84	98.44	101.70	104.60	107.22	107.49
(d) 分配準備積立金	276.41	256.60	258.71	264.28	275.97	282.83
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	373.08	380.15	388.61	402.96	410.31	416.78
(f) 分配金	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	353.08	360.15	368.61	382.96	390.31	396.78

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「英国公社債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れます。

○英国公社債マザーファンド

当ファンドは、B B B格相当以上（取得時）の英国ポンド建て債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。ポートフォリオの金利リスクを表す修正デュレーションは、5（年）程度～10（年）程度の範囲で、英国経済分析や金融政策見通しに基づいて変動させます。債券種別では、国債と社債を中心として投資を行いません。社債については、社債発行企業の信用リスク分析を行なった上で、クレジット市場全体の動向を加味して投資銘柄を選別します。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第 6 期～第11期		項 目 の 概 要
	(2015. 8. 11～2016. 2. 8)		
	金 額	比 率	
信託報酬	61円	0.632%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,604円です。
（投信会社）	(26)	(0.268)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(33)	(0.349)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(2)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	2	0.020	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	63	0.652	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

英国公社債ファンド（毎月分配型）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年8月11日から2016年2月8日まで)

決算期	第6期～第11期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千円	千円	千円	千円
英国公社債 マザーファンド	146,904	146,000	265,831	261,500

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第6期～第11期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第5期末	第11期末	
	□数	□数	評価額
	千円	千円	千円
英国公社債 マザーファンド	1,024,917	905,990	832,061

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年9月8日)、(2015年10月8日)、(2015年11月9日)、(2015年12月8日)、(2016年1月8日)、(2016年2月8日) 現在

項目	第6期末	第7期末	第8期末	第9期末	第10期末	第11期末
(A) 資産	1,059,893,627円	1,071,353,312円	1,070,235,345円	1,032,098,452円	898,886,672円	841,433,618円
コール・ローン等	9,483,797	3,987,002	1,688,705	3,504,321	1,230,507	872,020
英国公社債マザーファンド（評価額）	1,050,409,830	1,067,366,310	1,065,646,640	1,022,594,131	893,656,165	832,061,598
未収入金	—	—	2,900,000	6,000,000	4,000,000	8,500,000
(B) 負債	9,045,660	3,328,020	4,378,011	9,075,075	4,843,824	8,771,490
未払収益分配金	2,175,079	2,213,537	2,210,005	2,085,951	1,971,795	1,875,867
未払解約金	5,798,141	—	947,337	5,899,662	1,792,385	5,927,023
未払信託報酬	1,065,680	1,100,742	1,199,319	1,061,385	1,044,942	928,019
その他未払費用	6,760	13,741	21,350	28,077	34,702	40,581
(C) 純資産総額（A－B）	1,050,847,967	1,068,025,292	1,065,857,334	1,023,023,377	894,042,848	832,662,128
元本	1,087,539,797	1,106,768,872	1,105,002,514	1,042,975,789	985,897,508	937,933,664
次期繰越損益金	△ 36,691,830	△ 38,743,580	△ 39,145,180	△ 19,952,412	△ 91,854,660	△ 105,271,536
(D) 受益権総口数	1,087,539,797□	1,106,768,872□	1,105,002,514□	1,042,975,789□	985,897,508□	937,933,664□
1万口当り基準価額（C/D）	9,663円	9,650円	9,646円	9,809円	9,068円	8,878円

* 第5期末における元本額は1,041,613,768円、当作成期間（第6期～第11期）中における追加設定元本額は248,363,219円、同解約元本額は352,043,323円です。

* 第11期末の計算口数当りの純資産額は8,878円です。

* 第11期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は105,271,536円です。

■投資信託財産の構成

2016年2月8日現在

項目	第11期末	
	評価額	比率
	千円	%
英国公社債マザーファンド	832,061	98.9
コール・ローン等、その他	9,372	1.1
投資信託財産総額	841,433	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月8日における邦貨換算レートは、1イギリス・ポンド＝169.84円です。

(注3) 英国公社債マザーファンドにおいて、第11期末における外貨建純資産（838,895千円）の投資信託財産総額（840,587千円）に対する比率は、99.8%です。

■損益の状況

第6期 自2015年8月11日 至2015年9月8日 第8期 自2015年10月9日 至2015年11月9日 第10期 自2015年12月9日 至2016年1月8日
 第7期 自2015年9月9日 至2015年10月8日 第9期 自2015年11月10日 至2015年12月8日 第11期 自2016年1月9日 至2016年2月8日

項目	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期
(A) 配当等収益	227円	171円	56円	78円	151円	32円
受取利息	227	171	56	78	151	32
(B) 有価証券売買損益	△ 58,460,563	1,948,830	2,862,546	20,044,909	△ 69,917,220	△ 15,072,028
売買益	690,852	2,696,383	2,981,886	20,947,491	1,772,286	735,849
売買損	△ 59,151,415	△ 747,553	△ 119,340	△ 902,582	△ 71,689,506	△ 15,807,877
(C) 信託報酬等	△ 1,072,440	△ 1,107,723	△ 1,206,928	△ 1,068,112	△ 1,051,567	△ 933,898
(D) 当期損益金 (A+B+C)	△ 59,532,776	841,278	1,655,674	18,976,875	△ 70,968,636	△ 16,005,894
(E) 前期繰越損益金	30,061,739	△ 29,384,280	△ 30,355,062	△ 28,886,804	△ 11,242,479	△ 80,018,358
(F) 追加信託差損益金	△ 5,045,714	△ 7,987,041	△ 8,235,787	△ 7,956,532	△ 7,671,750	△ 7,371,417
(配当等相当額)	(7,813,328)	(10,895,149)	(11,238,369)	(10,910,418)	(10,571,614)	(10,082,313)
(売買損益相当額)	(△ 12,859,042)	(△ 18,882,190)	(△ 19,474,156)	(△ 18,866,950)	(△ 18,243,364)	(△ 17,453,730)
(G) 合計 (D+E+F)	△ 34,516,751	△ 36,530,043	△ 36,935,175	△ 17,866,461	△ 89,882,865	△ 103,395,669
(H) 収益分配金	△ 2,175,079	△ 2,213,537	△ 2,210,005	△ 2,085,951	△ 1,971,795	△ 1,875,867
次期繰越損益金 (G+H)	△ 36,691,830	△ 38,743,580	△ 39,145,180	△ 19,952,412	△ 91,854,660	△ 105,271,536
追加信託差損益金	△ 5,045,714	△ 7,987,041	△ 8,235,787	△ 7,956,532	△ 7,671,750	△ 7,371,417
(配当等相当額)	(7,813,328)	(10,895,149)	(11,238,369)	(10,910,418)	(10,571,614)	(10,082,313)
(売買損益相当額)	(△ 12,859,042)	(△ 18,882,190)	(△ 19,474,156)	(△ 18,866,950)	(△ 18,243,364)	(△ 17,453,730)
分配準備積立金	30,586,481	28,965,928	29,493,805	29,031,779	27,909,187	27,133,321
繰越損益金	△ 62,232,597	△ 59,722,467	△ 60,403,198	△ 41,027,659	△ 112,092,097	△ 125,033,440

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期
(a) 経費控除後の配当等収益	2,699,821円	2,779,084円	3,115,985円	3,553,886円	2,672,548円	2,480,676円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	7,813,328	10,895,149	11,238,369	10,910,418	10,571,614	10,082,313
(d) 分配準備積立金	30,061,739	28,400,381	28,587,825	27,563,844	27,208,434	26,528,512
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	40,574,888	42,074,614	42,942,179	42,028,148	40,452,596	39,091,501
(f) 分配金	2,175,079	2,213,537	2,210,005	2,085,951	1,971,795	1,875,867
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	38,399,809	39,861,077	40,732,174	39,942,197	38,480,801	37,215,634
(h) 受益権総口数	1,087,539,797□	1,106,768,872□	1,105,002,514□	1,042,975,789□	985,897,508□	937,933,664□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万 口 当 り 分 配 金	第 6 期	第 7 期	第 8 期	第 9 期	第10期	第11期
		20円	20円	20円	20円	20円
(単 価)	(9,663円)	(9,650円)	(9,646円)	(9,809円)	(9,068円)	(8,878円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

英国公社債マザーファンド

運用報告書 第2期 (決算日 2016年2月8日)

(計算期間 2015年8月11日～2016年2月8日)

英国公社債マザーファンドの第2期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	英国ポンド建債券
運用方法	<p>①主として、英国ポンド建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②運用にあたっては、以下の方針を基本とします。</p> <p>イ. 投資対象は、国債等（国家機関、政府・地方政府、国際機関もしくはそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証する債券を含みます。）および社債とします。</p> <p>ロ. 投資する債券は、取得時においてB B B格相当以上（ムーディーズでB a a 3以上、S & PでB B B -以上またはフィッチでB B B -以上）の格付けを有することを基本とします。</p> <p>ハ. ポートフォリオの修正デュレーションは、5（年）程度から10（年）程度の範囲を基本とします。</p> <p>ニ. 金利リスク調整のため、英国ポンド建ての国債先物取引等を利用することがあります。</p> <p>③外貨建資産の組入比率は、通常の状態 で高位に維持することを基本とします。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	純資産総額の10% 以下

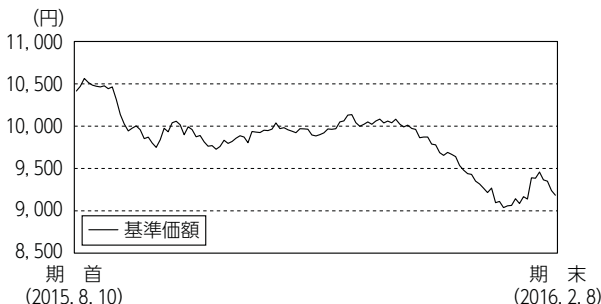
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年月日	基準価額		シティ英国国債 インデックス (円換算)		公社債 組入比率		債券 先物比率	
	円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %	%	%	%	%
(期首) 2015年8月10日	10,415	—	10,599	—	97.0	—	—	—
8月末	10,003	△ 4.0	10,238	△ 3.4	96.1	—	—	—
9月末	9,770	△ 6.2	10,110	△ 4.6	93.4	—	—	—
10月末	9,923	△ 4.7	10,140	△ 4.3	95.2	—	—	—
11月末	10,022	△ 3.8	10,234	△ 3.4	96.5	—	—	—
12月末	9,640	△ 7.4	9,823	△ 7.3	93.5	—	—	—
2016年1月末	9,390	△ 9.8	9,790	△ 7.6	95.0	—	—	—
(期末) 2016年2月8日	9,184	△ 11.8	9,642	△ 9.0	96.2	—	—	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) シティ英国国債インデックス (円換算) は、シティ英国国債インデックス (英国ポンドベース) のデータに基づき円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。
- (注5) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,415円 期末：9,184円 騰落率：△11.8%

【基準価額の主な変動要因】

英国国債市場の金利低下 (債券価格の上昇) は基準価額の上昇要因となる一方で、英国ポンドの対円為替レートの下落や社債市場のスプレッド (国債に対する上乗せ金利) の拡大が基準価額の下落要因となり、これらの結果、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○英国債券市況

英国債券市況は、英国国債金利が低下 (債券価格は上昇) する一方、社債市場ではスプレッドが拡大しました。市場では中国経済の先行き不透明感が漂う中、期首から2015年10月下旬にかけて英国国債金利は方向感なく推移しました。その後、米国では12月の利上げ開始観測が高まる一方、英国ではBOE (イングランド銀行) のカーニー総裁から市場の利上げ観測を後退させる発言が聞かれたほか、11月の四半期インフレ報告の中で物価見通しが下方修正され、利上げ開始時期の後ずれが意識されました。こうした環境下、金利は12月下旬にかけて上下に振れながらもボックス圏での推移が続きました。2016年1月以降、原油価格や中国株が下げ足を速めるなど市場のリスク回避姿勢が強まる中、金利は期末にかけて低下基調となりました。一方、社債市場については世界的なリスク選好度合いの低下がスプレッドの拡大要因となりました。

○為替相場

英国ポンドの対円為替レートは下落 (円高) しました。期首から、中国株の急落をきっかけとした世界的な株安の流れを背景にポンド円は下落しました。その後は、英国において雇用関連をはじめとして堅調な経済統計が発表されたことや、ECB (欧州中央銀行) が追加金融緩和に前向きな姿勢を示し市場のリスク選好が強まったことなどから、2015年11月中旬にかけてポンド円はじりじりと上昇しました。12月以降、原油価格が下落する中で市場のリスク回避姿勢が強まり、2016年1月中旬にかけてポンド円は下落基調を強めました。1月末には日銀がマイナス金利導入を決定し金融緩和姿勢を強めたことから、ポンド円は急上昇する場面も見られましたが、2月以降は世界的に株安傾向が強まったこともあり、期末にかけてポンド円は日銀の追加緩和発表後の上昇をほぼ打ち消す形で下落に転じました。

◆前期における「今後の運用方針」

当ファンドは、BBB格相当以上 (取得時) の英国ポンド建て債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。ポートフォリオの金利リスクを表す修正デュレーションは、5 (年) 程度~10 (年) 程度の範囲で、英国経済分析や金融政策見通しに基づいて変動させます。債券種別では、国債と社債を中心として投資を行いません。社債については、社債発行企業の信用リスク分析を行なった上で、クレジット市場全体の動向を加味して投資銘柄を選別します。

◆ポートフォリオについて

英国ポンド建て債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしました。

金利変動リスクを表す修正デュレーションについては、5 (年) 程度から10 (年) 程度の範囲内で運用しました。英国経済のファンダメンタルズ (経済の基礎的条件) や金融政策の方向性、また世界的な金融環境などを勘案しつつ、修正デュレーションについては徐々に短期化を進めました。債券種別構成としては、国債と社債を中心にポートフォリオを構築しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。参考指数は英国債市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

当ファンドは、B B B 格相当以上（取得時）の英国債券建て債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。ポートフォリオの金利リスクを表す修正デュレーションは、5（年）程度～10（年）程度の範囲で、英国経済分析や金融政策見通しに基づいて変動させます。債券種別では、国債と社債を中心として投資を行ないます。社債については、社債発行企業の信用リスク分析を行なった上で、クレジット市場全体の動向を加味して投資銘柄を選別します。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	2 (1)
(その他)	(0)
合 計	2

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 主要な売買銘柄
公 社 債

(2015年8月11日から2016年2月8日まで)

当 期		期	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄		銘 柄	
	千円		千円
United Kingdom Gilt (イギリス) 4.75% 2020/3/7	57,021	OEKB OEST. KONTROLLBANK (オーストリア) 5.75% 2028/12/7	58,232
United Kingdom Gilt (イギリス) 5% 2018/3/7	38,043	United Kingdom Gilt (イギリス) 5% 2025/3/7	34,075
United Kingdom Gilt (イギリス) 5% 2025/3/7	21,471	United Kingdom Gilt (イギリス) 6% 2028/12/7	26,755
United Kingdom Gilt (イギリス) 8.75% 2017/8/25	8,688	United Kingdom Gilt (イギリス) 2.75% 2024/9/7	17,382
		United Kingdom Gilt (イギリス) 8.75% 2017/8/25	15,248

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■ 売買および取引の状況

公 社 債

(2015年8月11日から2016年2月8日まで)

		買 付 額	売 付 額
外 国	イギリス	千イギリス・ポンド 693	千イギリス・ポンド 514
		国債証券	(—)
		特殊債券	335 (—)
		社債券	— (384)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子は含まれておりません）。

(注2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

英国公社債マザーファンド

■組入資産明細表

(1) 外国 (外貨建) 公社債 (通貨別)

区 分	額 面 金 額	当 期			末			
		評 価 額		組入比率	うちB B格 以下組入 比 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5年以上	2年以上	2年未満
イギリス	千イギリス・ポンド 4,109	千イギリス・ポンド 4,712	千円 800,330	% 96.2	% —	% 64.6	% 24.0	% 7.6

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
					千イギリス・ポンド	千円	
イギリス	United Kingdom Gilt	国債証券	8.7500	140	158	26,916	2017/08/25
	United Kingdom Gilt	国債証券	8.0000	650	887	150,811	2021/06/07
	United Kingdom Gilt	国債証券	5.0000	60	78	13,251	2025/03/07
	United Kingdom Gilt	国債証券	4.7500	310	360	61,142	2020/03/07
	United Kingdom Gilt	国債証券	5.0000	650	712	121,060	2018/03/07
	Italy Government International Bond	国債証券	6.0000	200	248	42,144	2028/08/04
	Tennessee Valley Authority	特殊債券	5.6250	199	271	46,192	2032/06/07
	BK. NEDERLANDSE GEMEENTEN	特殊債券	1.8750	100	102	17,363	2018/12/07
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	4.1250	200	212	36,054	2017/12/07
	RABOBANK NEDERLAND	社 債 券	4.6250	200	196	33,450	2029/05/23
	Standard Chartered PLC	社 債 券	5.1250	200	157	26,827	2034/06/06
	Aegon NV	社 債 券	6.1250	100	129	22,053	2031/12/15
	InterContinental Hotels Group PLC	社 債 券	3.8750	100	103	17,595	2022/11/28
	BAE Systems PLC	社 債 券	4.1250	100	107	18,231	2022/06/08
	THAMES WATER UTIL CAY FI	社 債 券	4.0000	100	108	18,389	2025/06/19
	HSBC Bank PLC	社 債 券	5.3750	200	211	35,918	2030/11/04
	Electricite de France SA	社 債 券	5.5000	200	215	36,578	2041/10/17
	RWE Finance BV	社 債 券	6.2500	200	217	36,871	2030/06/03
	VODAFONE GROUP	社 債 券	5.9000	200	232	39,475	2032/11/26
	合 計	銘柄数 金 額	19銘柄		4,109	4,712	800,330

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年2月8日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	800,330	95.2
コール・ローン等、その他	40,257	4.8
投資信託財産総額	840,587	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月8日における邦貨換算レートは、1イギリス・ポンド=169.84円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(838,895千円)の投資信託財産総額(840,587千円)に対する比率は、99.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年2月8日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	849,478,533円
コール・ローン等	16,532,857
公社債(評価額)	800,330,116
未収入金	9,000,000
未収利息	14,083,263
前払費用	1,040,297
差入委託証拠金	8,492,000
(B) 負債	17,391,374
未払金	8,891,374
未払解約金	8,500,000
(C) 純資産総額(A-B)	832,087,159
元本	905,990,416
次期繰越損益金	△ 73,903,257
(D) 受益権総口数	905,990,416口
1万口当り基準価額(C/D)	9,184円

*期首における元本額は1,024,917,301円、当期中における追加設定元本額は146,904,665円、同解約元本額は265,831,550円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、英国公社債ファンド(毎月分配型)905,990,416円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は9,184円です。

*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は73,903,257円です。

■損益の状況

当期 自2015年8月11日 至2016年2月8日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	21,655,946円
受取利息	21,655,946
(B) 有価証券売買損益	△ 141,408,408
売買益	4,014,759
売買損	△ 145,423,167
(C) その他費用	△ 157,464
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 119,909,926
(E) 前期繰越損益金	42,579,784
(F) 解約差損益金	4,331,550
(G) 追加信託差損益金	△ 904,665
(H) 合計(D+E+F+G)	△ 73,903,257
次期繰越損益金(H)	△ 73,903,257

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。